

株式会社キミカが「防災・減災×レジリエンス賞」を受賞

一般社団法人減災サステナブル技術協会が主催する「防災・減災×サステナブル大賞」で、大堀にオフィス・工場を持つアルギン酸メーカーの株式会社キミカが、「防災・減災×レジリエンス賞 カンパニー部門 グローバル賞」を受賞しました。この賞は、同協会が、安全・安心で真にサステナブルな社会の実現に向けた防災・減災の取組みを評価して授与しているものです。

株式会社キミカは、海藻由来の天然多糖類「アルギン酸」の国内唯一のメーカーとして安定供給の責務を果たすため、1980年代に南米に進出し、現地の漁民とともに海藻資源保全とサプライチェーン強化に取り組んできました。こうした長年に渡る取組みが、レジリエンス性・サステナブル性・SDGsへ寄与したものと評価され、今回の受賞に至りました。

同社のアルギン酸の生産量は、国内市場の90%以上を占めており、高品質が求められる食品・医薬品向けの分野では世界トップの生産量を誇ります。近年はSDGsのフロントランナーとしても注目されており、令和2年に日本のSDGsの最高賞「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞、令和3年には環境大臣賞を2度受賞、令和4年には英国王立財団が創設した世界で最も権威ある環境賞「アースショット賞」にノミネートされています。

今回の受賞にあたり、代表取締役社長の笠原文善さんは「より良い未来の実現を目指し、取組みをより一層強化していきます。」と話してくれました。



▲昨年完成した新オフィス（大堀）